

博多湾で「クイーンビートル」を撮る

2024-3-10 事務局長 池田良穂

先にニュースでご紹介した「パンスター・ドリーム」の大阪～釜山の乗船会では、玄界灘での博多～釜山航路の高速旅客船「クイーンビートル」との出会いが楽しみでしたが、交差した時の距離が遠く、霞もかかっていたので撮影はできませんでした。釜山から帰った翌週の日曜日に福岡に出かけて「クイーンビートル」の撮影に再挑戦しました。同船は、夜は釜山港に停泊して、朝に釜山をでて1往復するスケジュールでしたが、この週からは博多港を朝9時に出て釜山に向い、1往復するようになっていました。

博多湾の中は市営の高速旅客船やフェリーが走っており、その船上から撮影をすることに、8時20分博多港発の市営船で志賀島(しかのしま)に行き、志賀島を9時発の船で折り返して、9時に博多港を出港する「クイーンビートル」を捉えることに決めました。

博多発の船は「きんいん」でした。瀬戸内クラフトで建造されたアルミの高速艇で、船尾暴露甲板に椅子席があり、撮影にはもってこい。博多港を出る時には、停泊中の「クイーンビートル」の姿を見ることができました。この船の赤い船体は、光が当たった時には綺麗な赤に見えますが、光が当たっていないとかなり暗い赤となります。

志賀島まで航海してみて、志賀島からの帰りの船上からはほぼ逆光になる可能性があることがわかり、急遽、志賀島の沖合で、「クイーンビートル」が北に針路を向けてからの撮影に切り替えました。



博多港～志賀島まで乗船した市営船「きんいん」です。



博多港に停泊する「クイーンビートル」。オーストラリアのオースタル・シップ建造のアルミ製トリマラン型高速旅客船です。日の当たり方で赤い船体の印象がかなり異なります。



志賀島に向う途中で玄海島航路の「みどり丸」と反航しました。



「金印」の島として有名な志賀島の港には、大型の「きんいん I」も停泊していました。志賀島からの帰りに、この船に乗船することができました。



博多に向けて志賀島を出港する「きんいん」と、沖合を博多港に向う九州郵船の「フェリーきずな」です。



福岡市営船航路図(福岡市 HP)



近づいてきた「クイーンビートル」は逆光状態でしたが、志賀島の沖合で北に針路を変えて北上していきました。かろうじて半逆光の撮影となりましたが、満足いく写真にはなりませんでした。



志賀島の旅客船ターミナルにはかつての市営船「しかしま」の模型が飾られていました。



「きんいんⅠ」は博多港から出港する「フェリーきずな」と反航しました。



博多港と海の中道棧橋を結ぶ安田産業汽船の高速旅客船「オーシャンライナー5」です。



九州郵船の言岐・対馬航路のジェットフォイル「ビナス」が追い抜いて行きましたが、港内では減速して「きんいん I」の方が先に博多港に着岸しました。



博多港では RORO 貨物船「さんふらわあはかた」が荷役中でした。



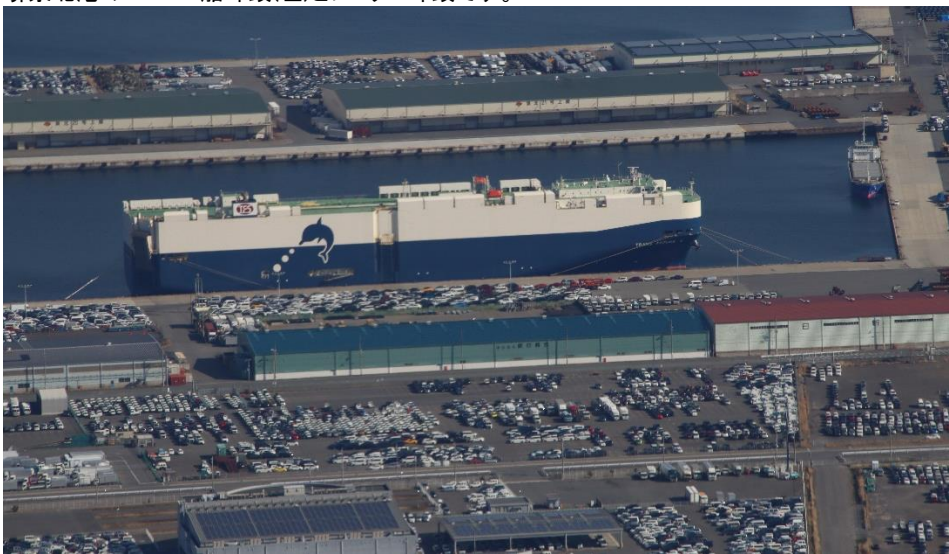
博多空港から関西空港への帰りの飛行機の窓からは、奇麗に関西の港が見えました。神戸港と神戸空港です。



大阪南港のフェリーターミナルです。



堺泉北港の RORO 船埠頭(左)とフェリー埠頭です。



PCC 埠頭に着岸中の PCTC「トランス・フューチャー」です。



手前の空き地には太陽光パネルが敷き詰められていました。